

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901357		
法人名	M・Fライフサポート株式会社		
事業所名	高齢者グループホーム なごみ		
所在地	北海道旭川市神楽6条1丁目1番26号 (電話) 0166-62-3630		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年4月22日	評価確定日	平成20年5月9日

【情報提供票より】(平成20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	30,000 ~ 34,500 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(27,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	15 名	男性 1 名	女性 14 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 82.5 歳	最低 67 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神楽神経内科医院・沼崎病院・大雪病院・林歯科医院・いまみや歯科医院
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの中庭や玄関前には、ベンチが用意され日光浴や外気浴を楽しみながら気分転換がはかれるように工夫されたグループホームです。また、家庭的な雰囲気の中でなごみのある生活が送れるように、接遇について特に力を注ぐと共に職員を育てる取り組みも行われています。食事が楽しみなものとなるように、一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員と一緒に食材の準備や食事、後片付けなど協力しながら行い、なごやかな食事風景を醸し出していました。また、本人の能力を最大限発揮できるように居室の掃除や洗濯物干し、食器洗い、畑作業などケアプランに基づいた支援が行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、火災などの緊急時に、全ての職員が速やかに対応ができるような取り組みについて改善点が挙げられていましたが、資格を持った防火責任者が配置され火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備の点検も定期的に行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しています。また、自己評価は、全ての職員が参加して行われ施設の運営やケアプラン、利用者や家族との連携など具体的課題への改善に活かされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、評価日現在2回実施され町内会役員や市民委員会役員など参加して実施されています。また、運営推進会議の案内については全ての家族に案内されて会議への参加を呼びかけています。今後は、二ヶ月毎に運営推進会議が開催され、利用者やサービスの実際、自己評価及び外部評価への取り組み状況等について話し合いが行われることを期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 季節毎に「なごみ通信」を発行して、ホーム行事参加や日常生活の様子など情報提供されています。また、家族の来訪時には職員との話し合いが行われ意見や苦情・要望を表せる機会を設けています。金銭管理については、領収書及び個別の出納帳で家族に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の教会の子供達との交流やホームの農園での畑作業などで地域との交流が行われています。また、ホーム主催の「夏祭り」の開催や町内会行事への参加など日常生活を通じて認知症に対する広報や啓発に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念をつくり、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念について毎月のミーティングで話し合い、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の教会の子ども達との交流やホームの農園での畑作業などで地域との交流が行われています。また、ホーム主催の「夏祭り」の開催や町内会行事への参加など日常生活を通じて認知症に対する広報や啓発に取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しています。また、自己評価は、全ての職員が参加して行われ施設の運営やケアプラン、利用者や家族との連携など具体的課題への改善に活かされています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在2回開催されている。委員は家族、町内会役員、市民委員会役員、民生委員、管理者及び職員で構成されている。	○	今後は、二ヶ月毎に運営推進会議が開催され、利用者やサービスの実際、自己評価及び外部評価への取り組み状況等について話し合いが行われることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	保健所の研修会に参加するなどサービスの質の向上に日々取り組んでいる。	○	今後は、さらに市担当者との連携を推進されることを期待します。
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季節毎に「なごみ通信」や「近況報告」で、ホーム行事参加や日常生活の様子など情報提供されています。また、金銭管理については領収書及び個別の出納帳で家族に報告されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時やケアプランの説明時には、管理者、職員との話し合いが行われ意見や苦情・要望を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、新人職員の紹介を都度行っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月開催される全体会議で後期高齢者医療制度などの内部研修が実施されている。また、職員の接遇について特に力を注いでいる。外部研修についても適時職員を派遣している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加して、同業者との交流の機会を設けている。	○	今後は、他同業者との交流を増やす検討がされているので、さらなる交流促進を期待します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、病院や自宅を訪問して本人の様子を観察したり、体験利用を勧めながら職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の能力を最大限発揮できるように、職員と一緒に過ごしながら居室の掃除や洗濯物干し、食器洗い、炊作業などケアプランに基づいた支援が行われている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組み散歩や日光浴などの外出や趣味への支援、ホーム行事への参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となって現状に即した介護計画の見直しが行われている。また、状態変化にも随時対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	看護師が常勤しており、利用者の状況に応じて医療連携体制が活かされ支援されている。また、通院の送迎や歯科医師の往診なども支援されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が常勤しており、主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について本人・家族の意志が段階的に確認されている。	○	今後は、重度化した場合や終末期のあり方について対応ができるように関係機関等と検討の準備を進めている。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、接遇についての取り組みが行われ職員間で共有されている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを把握して、散歩や日光浴など希望に沿った支援をしている。また、リビングに集い会話を楽しんだり、趣味への支援が行われ家庭的雰囲気を感じられた。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものとなるように、一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員と一緒に食材の準備や食事、後片付けなど協力しながら行い、なごやかな食事風景を醸し出している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回を目安にゆっくりと入浴が楽しめるように工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の能力を最大限発揮できるように居室の掃除や洗濯物干し、食器洗い、畑作業などケアプランに基づいた支援が行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や日光浴、花菜里ランド、紅葉狩りやドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。また、日常的に外出ができるように担当が決められ起案書が作成されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけないように取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	資格を持った防火責任者が配置され火災避難訓練が年2回実施されている。また、消火設備の点検も定期的に行われている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるメニューが作成され、個別の嚥下状態などによる支援も実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量も把握され個々に応じた対応がされている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングでは、採光が採り入れられ明るく清潔感が漂っている。また、利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。和室のコーナーには、季節毎の雛人形などが飾られ利用されている。また、廊下の壁には利用者の折り紙や小物など趣味の作品や行事参加の写真が飾られている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家族の写真や観葉植物、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。